

# つたエール

## ◀ “YELL” けん

県内で頑張っている企業に

エール(応援)を送ります

### 有限会社ポラリス(諫早市)



介護施設を運営しながら、IoT<sup>※</sup>を活用した高齢者見守りシステム「Poraネット」を開発・運営する有限会社ポラリス。システムにより、利用者の安全性向上と同時に職員の業務負担軽減にもつなげています。「Poraネット」開発の経緯や今後の目標について、代表の草野太成さん(右から2人目)にお話を伺いました。

※「Internet of Things」。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、さまざまなものに通信機能を持たせ、インターネットへの接続や相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと

#### Q.1 高齢者見守りシステム「Poraネット」はどのようなシステムですか？

人感センサーや眠りセンサー、ドアの開閉センサーで対象者の活動を検知し、異常を感じた際にはカメラや受信端末を連動させ、パソコンやスマートフォンで対象者を見守ることのできるシステムです。「第65回長崎県発明くふう展」では優良賞を受賞しました。

#### Q.2 自社で開発をはじめたきっかけは？

親の介護の苦労や困難をきっかけに、被介護者やご家族の苦労を少しでも解消できればと介護施設の運営をはじめました。介護の現場では、利用者の安全性が求められるため、効率的に見守り、職員の業務負担を軽減することを目的に、開発をはじめました。

#### Q.3 開発時に苦労した点や工夫したポイントなどはありますか？

当初は複数のセンサーによって見守りをしていましたが、センサーが過敏に反応することによって、かえって職員の負担が増えてしまいました。現場の職員の提案で、カメラをセンサーに連動することで、状況を正確に把握することができ、職員の負担軽減や見守りの安全性を高めることができました。

#### Q.4 今後の目標は？

高齢化が進み、さらなる人手不足が懸念されます。システムが被介護者の安全性の確保や現場の職員の負担軽減につながることを願っています。



利用者に合わせて、人感センサー、眠りセンサー、ドア開閉センサーを組み合わせ設置し、パソコンなどで被介護者を見守っている。

IoTを活用した新しいサービス開発を応援するけん!

